

千年の森便り No.190

2019.05. 17

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

5月12日(日) 日曜日 晴

5月12日は公開行事の環境学習を兼ねた新緑ハイキングでした。天候に恵まれた上、セブンイレブン記念財団からの助成を得て、貸し切りバスが出せましたので、いつもにも増しての大賑わいでした。バス利用者は会員を含めて37名、自家用車で直行は同じく18名の総勢55名でした。



何を熱心に観察？



ハンショウヅル



トンネルを抜けて

県民の森から豊英トンネル手前までの林道コースでは期待のジャケツイバラが開花前で残念でしたが、オオバウマノスズクサ、ハンショウヅル、コケリンドウはちょうど見頃で堪能できたと思います。ウグイス、オオルリの囀りも耳を楽しませてくれました。

昼食後にはマダニ研究中の新入会員による取れたて最新情報、ナラタケを前にキノコの講釈師による一席、更にツチアケビ解説に引き続き3コースに分かれて、それぞれの講師が得意の持ちネタで時間一杯まで島内を案内しました。当会の多彩な人材の総合力が発揮された一日だったと思います。何はともあれ、大きな行事が無事に滞りなく終わられて安堵しています。

遠来の参加者の皆様にはスケジュールキープにご協力頂き感謝しています。会員の皆様にはおもてなしの精神で受け入れて頂きありがとうございました。(坂本)

参加会員は秋元、新井通子、伊藤、鶴沢、久我夫妻、栗山、坂本、田島、福島、細谷、松山、松田、真鍋、山口の15名でした。



新緑の森は総勢55名の参加で大賑わい



○豊英島ツアー；健脚コース

20名近い方を健脚コースにご案内しました。コースは、千年広場から吊り橋方向に向かい、島の北岸沿いを西に進み禁断の岬方向へ、ヒメコマツの植栽試験地まで行き、Uターンして広場に戻るというルートです。最初に、吊り橋近くの植生保護柵を見ていただき、豊英島におけるニホンジカによる植生への影響についてご紹介しました。現在は、保護柵によって植生を保護しており柵の内外では植生の量が大きく異なること、被害を受けてから保護柵を設置しても植生は元のように復活しないことなどをお話ししました。



森を歩き、ニホンジカによる食害の状況、希少植物（コショウノキなど）の保護状況を観察したあとは、やせ尾根をたどって、試験的にヒメコマツを植栽した場所を見ていただきました。房総半島では絶滅の恐れがあるヒメコマツを、かつて生育していたような環境に植栽し、その成長を観察している場所です。急な斜面で作業が大変そう、との感想をいただきました。このほかにも、シュラン、カンアオイ（花）、エビネ、シャシャンボ、ミヤマシキミ、イヌツゲ、モミ、カヤ、アラカシ、ツガ、ニホンジカのフンなどを観察しました。ご参加のみなさん、午前中のハイキングに加え、午後ハードなコースにチャレンジいただきありがとうございます。今回は、残念ながら名物のヤマビルに出会うことができませんでしたので、次回はぜひ！（福島）

○今どきナラタケが！

千年広場のギャップ林側とギャップ林に、ナラタケが発生していました。

外形がよく似たニガクリタケ（毒）と思い、噛んでみると苦くなく、柄にはツバがあり、何とナラタケでした。それにしても、春にこれだけ沢山のナラタケが発生するのは珍しい出来事です。（松田）



ナラタケ



ナラタケを前にきのこ講釈

○ツチアケビ

ツチアケビが芽を出しました。千年広場南に1本とヒメコマツ保護柵内に4本、マダケ林、巨木林保護柵内、島入り口はいずれもゼロで合計5本です。千年広場南の芽は9日の臨時活動日に新井さんが見つけ、金網で保護しました。

昨秋、千年広場とギャップ更新林に沢山のナラタケが発生したので、今年はナラタケに栄養を依存するツチアケビが多数発生するのではとの期待があり、この日もナラタケが多数見られましたが、ツチアケビの発生数は予想していたようには多くありませんでした。

ナラタケの観察を終え、豊英島ツアーに出発前のお客様を広場南のツチアケビにご案内しましたが、金網の中にたった1本では見栄えがしません。せめて、花や実の画像をお見せできればよかったと反省しました。葉が無く光合成をしないツチアケビは、ナラタケの仲間に栄養を依存する菌従属栄養植物との話が、参加者のみなさんに伝わったでしょうか。（真鍋）



広場南のツチアケビ

1株のツチアケビをじっくり観察

○昆虫観察記録

朝は肌寒く、虫の姿は少なかったのですが、昼頃に暖かくなると、チョウが活発に飛び始めました。4~5月は芋虫・毛虫の季節。ガードレールや葉っぱにはクワゴマダラヒトリの幼虫が多く、毛虫の嫌いな方はギョッとされたかもしれません。体にツノがあるクロモンキリバエダシャクという尺取虫がいたので、皆さんに見てもらいました。「このツノは何のため？」と変な姿に興味津々で、すっかり人気者！虫が苦手な方も、綺麗な虫や面白い虫、変な虫には興味を持たれるようです。イチゴ、アザミ、ツツジの花にはコマルハナバチがやって来て、フカフカの体毛に花粉をたっぷりつけて、花から花へ忙しそうです。アオハムシダマシという綺麗な甲虫も見られました。



クワゴマダラヒトリ幼虫



クロモンキリバエダシャク



コマルハナバチ



アオハムシダマシ

千年の森では、木の幹にオレンジ色のヒョウモンエダシャクの幼虫が目立ちました。これはアセビを食べ、体に毒をためています。来月は、昼間にヒラヒラと飛んでいる



ヒョウモンエダシャク



オオゴキブリ



ヒメリンゴカミキリ

姿が見られることでしょう。伐採木にいたオオゴキブリを皆さんにお見せすると、気持ち悪そうに横目でチラリ。このゴキブリは朽ち木を食べる希少種なのですが、ゴキブリという名前に拒絶反応？があるようです。防護ネット内は虫が多く、ヒメリンゴカミキリが、初夏の日差しを浴びていました。太田さんはじめ皆様、ご協力ありがとうございました。

他に観察された昆虫

(清和県民の森林道) シオカラトンボ、ミドリカワゲラ的一种、ヒメホシカメムシ、チャバネアオカメムシ、シマサシガメ幼虫、ヨコツナサシガメ、ヤニサシガメ幼虫、シロオビアワフキ幼虫、コアオハナムグリ、ジョウカイボン、ナカジロサビカミキリ、ルリクビボソハムシ、モンキアシナガハムシ、ヤナギルリハムシ、カクムネベニボタル、モモフトカミキリモドキ、ツヤケシハナカミキリ、オオスズメバチ、ニッポンヒゲナガハナバチ、ヤマトシリアゲ、ハナアブ、ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、ルリシジミ、ヤマトシジミ、ヒメウラナミジャノメ、クロコノマチョウ、コジャノメ、ハイイロシャチホコ、スカシコケガ、シロヘリキリガ幼虫、ドクガ幼虫、ハスオビエダシャク幼虫、ヒロバトガリエダシャク幼虫、オカモトトゲエダシャク幼虫

(豊英島) イシノミの一種、モリチャバネゴキブリ幼虫、ヤマトシロアリ、オオカマキリ幼虫、ツチイナゴ、ナナフシモドキ幼虫、ヒゲジロハサミムシ、チャバネアオカメムシ、オオメナガカメムシ、アカスジオオカスミカメ、アカアシカスミカメ幼虫？、クワキヨコバイ、イチモンジカメノコハムシ、クワハムシ、カシワクチフトゾウムシ、トゲアリ、オオイシアブ、クロアゲハ、ヒメノコメエダシャク幼虫 (田島)

○マダニ調査

今回が入会後初めての活動参加となりました。私の活動内容を報告します。この日豊英島でマダニがたくさん採れました。マダニの採取は、フランネル布を地面や下層植生の上を引きずることで、動物と勘違いしてくっ

つくマダニを捕獲する手法を用いています。また、マダニの採取と併せて、土壌含水率、地表面の温度、落ち葉の深さなども調べました。マダニが多く生息していたことは、我々人間からすれば嬉しいことですが、豊英島に豊かな自然がある証でもあります。



フランネル布を広げてマダニ採取



マダニのお話に質問が集中

しばらく野外調査をしているため、調査結果やマダニの画像は、改めて報告させていただきます。次回の調査は、7月と10月を予定しておりますので、会員の皆様よろしくお願いたします。(松山紘之)

(注)松山会員は東京大学大学院・博士課程に在学し、マダニの生態を研究中です。

新緑たけなわの風景を満喫

ちば千年の森をつくる会の会員さんのお誘いで急遽ハイキングに参加出来ました。清和県民の森から、普段は体験出来ないと言う君津市「豊英島」(とよふさじま)。新緑たけなわの風景を満喫しました。整備された森林の芽吹き眩しさと農村の田んぼの斜面林の景観を眺めて野草の花が咲く頃にも訪ねたい思いでした。



斜面林を支えるかの樹木の頑張り



倒木を土止めに



マツの花と赤いツツジ



吊り橋を渡り新緑の豊英島へ



千年の森の案内看板を見て



緑のシャワー浴びて昼食タイム

吊り橋を渡って、千年の森へ！緑のシャワーを浴びながらお昼食タイム。キノコやツチアケビ珍しい植物、大学生のダニの研究?! いろいろ体験。良い企画に参加させて頂き感謝です。8月の企画にも参加したいものです。(佐藤聡子さん)

初体験の自然観察会

今日は、私含め3人お世話になりました。本当にありがとうございました。

元々、山歩きが共通の趣味で知り合った友人達です。彼らは、普段、山を歩くのがメインな人達なので、自然観察会は未知の世界、初体験でした。坂本さん始め、会員さん達、そして参加メンバー達がフレンドリーに接してくれたり、良い雰囲気作りをしてくれたお蔭様で、2人の緊張が少しずつ解れてきたのでしょうか。最後は、時間を忘れる位、非日常をたっぷり味あわせて貰った、と喜んでおりました。なかなかできない貴重な体

験や知識は、私にとっても、彼らにとっても、今後の良き糧(良い経験値)となると信じております。最後に、3人代表して、御礼を申し上げます。今日は、楽しい時間をありがとうございました。(千葉玲子さん)



○農地の現況

午後、皆さんの島内案内の間に、農地の様子を見回りました。シカなどの害獣被害がどうなっているか気がかりだったからです。今のところ、意外に大丈夫なのは、コゴミ(クサソテツ)とウドです。ウルイ(オオバギボシ)はかなり深刻、タラの木は芽が出る前から食われ、再生芽も繰り返し食われているようですから保護しない限りほゞ絶望的です。里芋とミョウガの発芽は確認できませんでしたが、これから発芽だと思えます。

ブルーベリーは新芽が出ていますので根付いているようです。その周囲にセイタカアワダチソウが繁茂し始めましたので来月には抜き取りか刈り払いの必要があります。(坂本)



葉先を喰われたコゴミ

5月 9日(木) 曇 臨時活動日 参加は新井通子、田島

活動日にしばらく参加できなかったため、臨時に昆虫調査を行いました。新井さんをお願いをして連れて行っていただきました。センチコガネやアカヒゲヒラタコメツキなどを見つけて、虫の調査にまで協力して下さいました。新井さんに感謝します。(田島)

○植物保護柵補修

4月21日活動日に、小動物(ノウサギ?)のせいかギャップ林内は殆どの草本類が見当たりません。5月9日に臨時活動で入林の機会に、「網垂らし法」(ネット検索であるがノウサギなど小動物の侵入に有効と)作業を行いました。不器用なので何回もやり直しを繰り返してごく一部しか出来ませんでした。(新井通子)



小動物(ノウサギ?)が開けた穴

お知らせ

○次回活動日 6月9日(日)

清和自然休養村管理センター(直売所) 駐車場 9時30分集合。
ニホンジカ個体数調査、水辺の環境整備、危険木処理、ヒメコマツ周辺下刈り、植物、野鳥、昆虫調査を予定しています。ポート調査は状況に応じて対応。刈り払い機のある方は持参願います。ヘルメットをお忘れなく。(事務局)

(注) 第3日曜日は里山センター総会とラップするため、千年の森活動日を1週間繰り上げています。